

科目名		授業形態	担当教員名	
解剖学演習 I		演習・講義	嘉納 綾	
時間数 (単位数)		授業回数	年次	開講時期
15 時間 (1 単位)		8 回	1 年次	前期
授業の目的・概要				
上肢の骨と筋、関節の構造と機能を理解し、患者の運動や動作を理解する上での基礎学力の習得を目指す。骨格標本等を用いて立体的に理解できるように授業を進める。学んだ内容について「骨・関節と靭帯」「筋の起始・停止と作用」の2分野に分けて口頭試問を実施し理解度の確認を行うことで、実践的な知識の習得を目指す。				
授業の到達目標				
1. 上肢の骨・関節・靭帯を説明できる。 2. 上肢の筋の起始・停止・作用・神経支配を説明できる。 3. 腕神経叢について説明できる。 4. 手の変形について説明できる。				
授業計画				
回	内容			
1	骨の構造と骨部位の名称			
2	関節の構造と機能、靭帯			
3	骨・関節のまとめ			
4	骨・関節の口頭試問、筋の起始・停止			
5	筋の起始・停止・走行			
6	関節運動の主動作筋			
7	筋の作用と神経支配、手の変形			
8	まとめと筋の口頭試問			
成績の評価方法と基準				
種別	割合	評価基準・その他備考		
筆記試験	50%	授業の理解度を評価する		
レポート・課題				
小テスト				
平常点				
その他	50%	口頭試問を行う		
自由記載				
教科書				
書名	著者・編集者名		出版社名	
標準理学療法学・作業療法学 解剖学 第5版	野村巖 編		医学書院	
分冊解剖学アトラス I 運動器 第6版	平田幸男 訳		文光堂	
基礎運動学 第6版補訂	中村隆一 他		医歯薬出版	
新・徒手筋力検査法 原著第10版	津山直一 他訳		協同医書	
自由記載				
参考文献				
書名	著者・編集者名		出版社名	
実習にも役立つ人体の構造と体表解剖	三木明德		金芳堂	
自由記載				
備考				
予習課題がありますので、期日までに提出してください。				